

- 26 クロチアニジンのラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 27 クロチアニジンのマウスを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 28 クロチアニジンのラットを用いた急性経皮毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 29 クロチアニジンのラットを用いた急性吸入毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1998年、未公表
- 30 TZNG のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 31 TZMU のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 32 TMG のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 33 MG のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 34 MAI のラットを用いた急性経口毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999年、未公表
- 35 クロチアニジンのラットを用いた急性神経毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 36 クロチアニジンのラットを用いた急性神経毒性試験 (追加試験) (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 37 クロチアニジンのウサギを用いた眼一次刺激性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 38 クロチアニジンのウサギを用いた皮膚一次刺激性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 39 クロチアニジンのモルモットにおける皮膚感作性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1997年、未公表
- 40 クロチアニジンのラットを用いた3ヶ月混餌投与亜急性毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000年、未公表
- 41 クロチアニジンの安全性評価資料の追加提出について : 住化武田農薬株式会社、2001年、未公表
- 42 クロチアニジンのイヌを用いた3ヶ月間混餌投与亜急性毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Vienna (米国)、2000年、未公表
- 43 クロチアニジンのラットを用いた90日間反復経口投与神経毒性試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation、2000年、未公表
- 44 クロチアニジンのイヌを用いた12ヶ月間混餌投与による慢性毒性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Vienna (米国)、2000年、未公表
- 45 クロチアニジンのラットを用いた24ヶ月間混餌投与による慢性毒性・発がん性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Madison (米国)、2000年、未公表

- 46 クロチアニジンのマウスを用いた 18 ヶ月間混餌投与による発がん性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories, Madison (米国)、2000 年、未公表
- 47 クロチアニジンのラットを用いた 2 世代繁殖試験 (GLP 対応) : Bayer Corporation (米国)、2000 年、未公表
- 48 クロチアニジンのラットにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories (米国)、1998 年、未公表
- 49 クロチアニジンのウサギにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : Argus Research Laboratories (米国)、1998 年、未公表
- 50 クロチアニジンの細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Bayer AG (独国) 1999 年、未公表
- 51 クロチアニジンのチャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79) を用いた HPRT 遺伝子座突然変異試験 (V79-HPRT 試験) (GLP 対応) : Bayer AG (独国)、1999 年、未公表
- 52 クロチアニジンのチャイニーズハムスター肺 CHL 細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験 (GLP 対応) : Safepharm Laboratories (英国)、2000 年、未公表
- 53 クロチアニジンのマウスを用いた *in vivo* 染色体異常試験 (GLP 対応) : Safepharm Laboratories (英国)、2000 年、未公表
- 54 クロチアニジンのラット肝細胞を用いた *in vivo* 不定期 DNA 合成 (UDS) 試験 (GLP 対応) : Bayer AG (独国)、1999 年、未公表
- 55 TZNG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 56 TZMU の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 57 TMG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 58 MG の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 59 MAI の細菌を用いた復帰変異性試験 (GLP 対応) : Covance Laboratories (英国)、1999 年、未公表
- 60 クロチアニジンにおける薬理試験 (GLP 対応) : (株) 三菱化学安全科学研究所、2000 年、未公表
- 61 作物残留及び水質汚濁に係る農薬の登録保留基準値の設定等に関する中央環境審議会土壌農薬部会報告について : 環境省平成 14 年 3 月 20 日発表資料
(HP : <http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=3225>)
- 62 国民栄養の現状－平成 10 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2000 年
- 63 国民栄養の現状－平成 11 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2001 年
- 64 国民栄養の現状－平成 12 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2002 年

平成17年6月2日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 吉倉 廣 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 井上 達

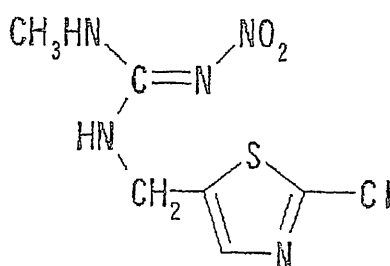
薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

平成16年12月9日厚生労働省発食安第1209004号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくクロチアニジンに係る食品規格（農産物等に係る農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

クロチアニジン

- 品目名：クロチアニジン (clothianidin)
- 用途：殺虫剤
ネオニコチノイド系殺虫剤である。作用機序は、主にニコチン性アセチルコリン受容体アゴニスト作用によるものと考えられる。
- 化学名：(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン
- 構造式及び物性



分子式	C ₆ H ₈ ClN ₅ O ₂ S
分子量	249.68
水溶解度	0.327 g/L (20°C)
分配係数	logPow = 0.7 (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

①フルスウィング[®](クロチアニジン 50.0%、登録番号：第 20733 号)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
芝	コガネムシ類幼虫	5000 倍	発生初期	4 回以内	1m ³ 当り 0.5～1L 散布	4 回以内
	シバツトガ スジキリヨトウ シハオサリウムシ				1m ³ 当り 0.5L 散布	

②ダントツ水溶剤 (クロチアニジン 16.0%、登録番号：第 20798 号)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	
稲	ウンカ類 ツマク・ロヨコハイ カメムシ類 イネト・ロオイムシ	4000倍	60~150L /10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は 3回以内)	
	ウンカ類 カメムシ類	1000倍	25L/10a					
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネト・ロオイムシ イネミス・ソウムシ	200倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り500mL	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱の上 から均一に 散布する。		
きゅうり	シキイロアザミウマ アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 4000倍	150~300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (但し定植後は 3回以内)	
メロン	アブラムシ類	4000倍						
	コナジラミ類 シキイロアザミウマ	2000~ 4000倍						
	トマトハモク・リハ・エ	2000倍						
すいか	アブラムシ類	4000倍						
なす	シキイロアザミウマ	2000倍						
	アブラムシ類 マメハモク・リハ・エ コナジラミ類	2000~ 4000倍						
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	2000~ 4000倍	150~300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (但し定植後は 3回以内)	
	ハモク・リハ・エ類	2000倍						
だいこん	アブラムシ類	2000~ 4000倍		収穫7日 前まで	2回以内		3回以内 (但し定植後は 2回以内)	
レタス				収穫3日 前まで	4回以内		2回以内	
ねぎ	ネキ・アサミウマ	2000倍		収穫7日 前まで	3回以内		4回以内	4回以内 (但し定植後は 3回以内)
	ネキ・ハモク・リハ・エ							
ばいしょ	アブラムシ類	4000倍		収穫7日 前まで	3回以内		4回以内 (但し定植後は 3回以内)	
	テトウムシガ・マシ類	2000~ 4000倍						
てんさい	テンサイトビ・ハムシ	200倍	5L/ハ・ハ・ポット 6冊(2.5L/m ²)	定植前	1回	苗床灌注	1回	

②ダントツ水溶剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クハアジンを 含む農薬の 総使用回数	
りんご	キンモンホリカ ギンモンモグリカ シンクイムシ類 アブラムシ類 クワコナカイラムシ	2000～ 4000倍	200～700 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散 布	3回以内	
なし	シンクイムシ類	2000～ 4000倍		2000～ 4000倍				収穫14日 前まで
	カメムシ類							
	アブラムシ類							
もも	クワコナカイラムシ	2000倍		2000～ 4000倍				収穫7日 前まで
	アブラムシ類	2000倍						
	モモハモグリカ シンクイムシ類 カメムシ類	2000倍						
おうとう	ウツクシヨウジヨウバエ	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	2回以内		
うめ	アブラムシ類	2000～ 4000倍		収穫7日 前まで	3回以内	3回以内		
ぶどう	コナカイラムシ類	2000倍		収穫14日 前まで				
	チャノキアザミウマ フタテンヒメコバエ	2000～ 4000倍						
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモグリカ アザミウマ類 ケシキスイ類 コアオハナムケリ ツノロウムシ コナカイラムシ類 ゴマダラカミキリ カメムシ類 アゲハ類	2000～ 4000倍	200～700 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散 布	3回以内	
	アカマルカイラムシ	2000倍						
かき	カキノヒメコバエ	4000倍	2000～ 4000倍	収穫7日 前まで	3回以内	散 布	3回以内	
	チャノキアザミウマ カキクダアザミウマ フジコナカイラムシ カキノハタムシカ	2000～ 4000倍						
	カメムシ類	2000倍						
	だいず	アブラムシ類 カメムシ類						2000倍

②ダントツ^㉒水溶剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	4000倍	200~300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内		3回以内 (但し定植後は2回以内)
ピーマン	モモアガフラムシ ミナキイロアザミウマ	4000倍 2000倍	150~300 L/10a	収穫前日まで			
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバエ チャノホソガ	2000~ 4000倍	200~400 L/10a	摘採7日前まで	1回		1回
	コミカンアブラムシ	4000倍					
きく	マメハモクリハエ アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	発生初期	4回以内		4回以内
	ばら	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ					
チューリップ	アブラムシ類	2000~ 4000倍					

注) 下線は、適用拡大申請中。

③ダントツ^㉓1キロ粒剤 (クロチアニジン 1.0%、登録番号: 第20799号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマクドロコハエ	1kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は3回以内)

④ダントツ^㉔粒剤 (クロチアニジン 0.50%、登録番号: 第20800号)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマクドロコハエ	3kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し本田期は3回以内)
	カメムシ類	3~4kg/10a				
稲 (箱育苗)	イネミスリウムシ イネドロオウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ~移植当日	1回	育苗箱の 苗の上から 均一に 散布する	

④ダントツ粒剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチアジンを 含む農薬の 総使用回数	
きゅうり	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	株元処理	4回以内 (但し定植後は 3回以内)	
	コナジラミ類						
	アブラムシ類	1~2g/株					
	ミナキイロアザミウマ	2g/株					
すいか	アブラムシ類	1~2g/株	定植時		株元処理 土壌混和		
	ミナキイロアザミウマ	2g/株					
メロン	コナジラミ類	1g/株	定植時		株元処理		
	アブラムシ類	1~2g/株					
	ミナキイロアザミウマ	2g/株			株元処理 土壌混和		
	トマトハモク'リハ'エ						
トマト ミニトマト	コナジラミ類	1g/株	鉢上時	株元処理			
	アブラムシ類 マメハモク'リハ'エ	1~2g/株					
	トマトハモク'リハ'エ	2g/株					
なす	アブラムシ類 マメハモク'リハ'エ	1g/株	定植時	株元処理 土壌混和			
	コナジラミ類						
だいこん	アブラムシ類	3~6kg/10a	は種時	1回	播溝処理 土壌混和	3回以内 (但しは種後は 2回以内)	
ねぎ	ネギアザミウマ ネキ'ハモク'リハ'エ	3~6kg/10a	収穫3日 前まで	4回以内	株元散布	4回以内	
ばれい しょ	アブラムシ類	6kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	4回以内 (但し植付後は 3回以内)	
	かんしょ				コガネムシ類	作条処理 土壌混和	1回
キャベツ	モモアカイフ'ラムシ	0.5g/株	育苗期 後半		株元処理	3回以内 (但し定植後は 2回以内)	
	コナガ アオムシ						
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	定植時		株元処理 土壌混和		
かんきつ (苗圃)	ミカンハモク'リカ'	10~20g/樹	育苗期		3回以内	株元散布	3回以内
ばら	アブラムシ類	1~2g/株	発生初期		4回以内	生育期 株元散布	4回以内
	ミカンキイロアザミウマ	2g/株					
きく	アブラムシ類	6kg/10a					
		1g/株					
	マメハモク'リハ'エ	2g/株					
	アザミウマ類						

注) 下線は、適用拡大申請中。